

閉 会 あ い さ つ

井上晃男（鹿児島大学南方海域研究センター長）

どうも、今日は長時間に亙りまして、ご討論いただきまして、ありがとうございました。準備不足で、いろいろご迷惑をかけたことをまずお詫びします。ただいま、露木先生の方で、要領よくまとめていただきましたように、私ども南方海域研究センターと申しますのは、5年前にできまして、オセアニアを中心としていろいろな活動をしてきた小さなセンターでございます。また学長のお話にありましたように、今日で第9回目のシンポジウムを開くことができましたが、おかげさまで、非常に多くの皆様のご参加を得ることができ、活発なご討論をいただきました。

私、実は総合討論のところで、なにかやじ馬的な質問でもしようと思いましたが、それを許さないほどの議論がなされたため、喜んで質問を取りやめた次第です。このシンポジウムの開催に当たりましては、半年前から、浦島先生、根建先生を中心として準備が進められてきました。多くのご努力を得まして、素晴らしいシンポジウムが開催できたことをご報告しまして、感謝の言葉としたいと思います。なお、私どものセンターでは、この成果につきまして、記録として遺したいという意向をもっておりまして、後日浦島先生がエディターになって、南方海域調査研究報告として出させていただきますと思います。

私も温泉に入りましたら、頭にタオルをのせてうなるだけでなく、少しは地下のことを考えたいと思います。またまさか金の延べ棒が手に入ることもないと思いますが、万一金のかけらでも見ることができたときには、少しはその因って来る由来を考えてみたいと思います。本当に今日は長いことありがとうございました。